令和４年７月　№333

学　校　だ　よ　り

中央区立京橋築地小学校
東京都中央区築地２丁目13番１号

あいさつの目的？

副校長　中嶋　友晴

６月３日（金）に３日間のセカンドスクールを終え、４年生が帰校しました。バスを降りるとき、子供たちが、「ありがとうございました」とドライバーさんに声を掛けているのを見て、とても嬉しくなりました。

挨拶は一般的に大切であると当然のことながら言われています。しかし、大人も子供もきちんとする人もいればしない人もいます。元気な挨拶は相手に対する思いやりであり、それが挨拶の大切さだと思います。立ち居振る舞い、体の動きも挨拶のうちです。手を上げたり振ったりしながらの挨拶で相手の気分もアップです。

私の体験談です。１３年前に帰国するまでローマ日本人学校に赴任し、家族で３年間イタリアのローマで生活をしました。あるとき、同じ集合住宅に住む下の階の住人がまくし立てるように怒鳴り込んできました。夜中中うるさいというのが理由でした。全く身に覚えのないことでした。生活をしてみるとわかりますが、やはり外国人に対する偏見があったように思います。しかし、だからといって喧嘩してそっぽを向くのではなく、こちらから積極的に挨拶だけはしていこうと家族で確認しました。初めは、ほとんど反応がなかったその方も、少し頷くところから始まり、それが小声で「ブォン・ジョルノ」そして、大きな声で挨拶をしてくれるようになったのです。その後は、町を歩いていても、クラクションを鳴らして、乗っている車の窓から手を振ってくれたり、イタリア人が大好きなサッカーの話をしたりするくらいの仲良しになれたのです。

挨拶とは、どこの国でも相手との関係をより良くするという目的をもっています。「私とあなたは仲間！」そんな意思を、お互いに表現しています。

京築小の子供たちもそんなすてきな挨拶ができる子がたくさんいます。

７月の行事予定　　★短縮時程

日	曜	主な行事予定
1	金	詩の日（夏）　安全指導　縦割り班活動
2	土	
3	日	
4	月	委員会
5	火	音楽鑑賞教室（６年）　個人面談①
6	水	個人面談②
7	木	
8	金	避難訓練　個人面談③
9	土	土曜授業日　セーフティ教室
10	日	
11	月	クラブ
12	火	個人面談④
13	水	
14	木	個人面談⑤
15	金	個人面談⑥　なわとびDAY
16	土	
17	日	
18	月	海の日
19	火	給食終
20	水	終業式
21	木	夏季休業日始　夏季水泳①　夏季学習教室①
22	金	夏季水泳②　夏季学習教室②
23	土	
24	日	
25	月	夏季水泳③　夏季学習教室③
26	火	夏季水泳④
27	水	夏季水泳⑤
28	木	戴帽式　館山事前検診
29	金	館山臨海学校始
30	土	
31	日	館山臨海学校終

特別活動について

特別活動主任　鈴木　快花

特別活動は、学級活動やクラブ・委員会活動、学校行事などを通して、自分が集団の一員として協力し、学校や学級、生活をよりよくしていこうと意識を高めていくことを目標としています。コロナ禍での集団活動や異学年交流は思うようにできず、もどかしい気持ちもあります。しかし、今できる方法で活動内容を工夫し、よりよい学校生活にしていこうと取り組んでいます。

今年度より集会活動が復活しました。今回は、先日行われた代表委員会による集会の内容を紹介します。

代表委員会では、30 周年記念式典に向け、全校で 6 月 25 日の開校記念日をお祝いしようと「京橋築地小学校歴史クイズ」を行いました。例えば、「校門にある子どもの像は３体である。」という問題。子供たちは、「あれ、何体だっけ。」と、一生懸命考えたり、思い出そうとしたりする姿が見られました。これから秋に行われる予定の開校３０周年記念式典に向けて、子供たちが主体となって 30 周年をお祝いできるよう、またよりよい学校にするために一緒に取り組んでまいります。

校内研究について

研究主任　金子　陽一

本校では、今年度から「できた・分かった実感を得ながら、興味関心をもって学習する児童の育成」を研究主題にして、国語・理科（生活）・体育の３教科で研究を進めていきます。

本校の児童の実態として、国語の読解力や要約・要旨をまとめること、理科での実験計画を立てることや、結果から考察をすることに課題が見られ、体育ではできる・できないの二極化などの傾向が見られます。そのことにより、「できない・分からない」と感じている児童がみられます。そこで、児童が「できた！分かった！」実感を得られるようにはどのような授業展開や学習計画が適切なのか研究していきます。

研究授業は９月から始めますが、毎月一回の研究分科会では、３つの教科に分かれてすでに研究が動き始めました。また、授業の基本の「スタンダード」も教科ごとに作成し、それを全教員が共通した一斉指導をすることで、基礎基本の定着も図っていきたいと考えております。